

# 歯周病学に基づいたインプラント治療 科学的根拠と手技の実際

講師：岩野 義弘先生

日時：平成29年1月29日(日)

場所：梅田センタービル



加納 淳一（兵庫県）



関西支部研修会が1月29日、大阪の梅田センタービルで行われました。

午前の部では会員発表として、恩田卓哉先生『インプラント症例へのDigital Dentistryの応用』、上原久晴先生『上顎にロケーターアバットメントを用いてOver Dentureを作成した症例』、北坂卓哉先生『Ⅱ級high angleの患者に矯正治療とインプラント埋入を行い咬合再構成を行った1症例』について症例報告がありました。

専門医委員会の小倉隆一先生はじめ経験豊富な先生方からのアドバイスや質問が飛び交い治療計画の重要性を再認識し非常に勉強になりました。

午後の部では、『歯周病学に基づいたインプラント治療～科学的根拠と手技の実際』と題し、歯周病専門医の岩野義弘先生に講演をいただきました。

歯周病はプラーク中のグラム陰性嫌気性菌により発症し歯周病の既往があるとインプラント周囲炎のリスクも4倍にもなるため、インプラント治療に際し適切なブラッシング(PCR15%)ポケット除去

(5mm以下)が確立してインプラント治療に移行することが大切だとおっしゃっていました。

また、リッジプリザーベーション、全口腔一括法の有効性、歯周組織再生療法(エムドゲイン)の適応症・切開法・骨移植術の併用の必要性、インプラント周囲炎の対応などを多くの文献および臨床経験より講演していただきました。

今回の研修会で学んだことを明日からの臨床につなげていきたいと思えます。

